

# ぐりーんず greens

第25号

2020.1 発行

**理念: 地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和**

## 基本方針

- ・本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- ・患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- ・つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。
- ・患者さんに合った最善のチーム医療を行います。
- ・中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します。



## 病院長ご挨拶



今回は令和2年 最初のぐりーんずへのご挨拶となります。

謹んで新年のお祝いを申し上げます。また、旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年もよろしくお願ひ致します。

さて、皆さま令和元年はいかがな一年でしたでしょうか。新天皇陛下の御即位や平成から令和への改元行事など、さまざまなことがご記憶に残る一年ではなかったかと推察申し上げます。

当センターでも平成31年～令和元年には様々な変化がありました。入退院支援センター、地域包括ケア構想と八千代ケアネットワークの立ち上げ、日本病院評価機構の再更新完了やJoint commission international (JCI)の本審査受審準備があげられます。

また、職員の内部労働環境の改善を目指して、特に、今まで手がつけられなかった医師の働き方改革が始まりました。さらには、千葉県を襲った台風15、19号への対応など事例を数えればきりがありませんが、一つずつ着実に困難な事例を解決し、次世代へ良きものを継承していきたいと存じます。

最後に、今後とも皆様方の益々のご活躍とご健勝を祈念するとともに、ご支援を賜りますことをよろしくお願ひ申し上げます。



令和2年1月  
病院長 新井田 達雄

# 大学病院での出産とは？

八千代医療センターは地域の核として、リスクの高い妊婦さんも受け入れる体制を整え、地域全体の妊娠・出産を支えるとともに、出産時の痛みを和らげる無痛分娩の普及にも努めています。

ハイリスクなお母さんと赤ちゃんはもちろん、合併症がなく妊娠経過が順調な方の分娩にも積極的に対応しています。八千代市にお住まいの方も、市外・県外にお住まいの方も、幅広く分娩の受け入れを行っています！

大学病院である八千代医療センターが、妊娠・出産時に提供するいくつかの特徴をご紹介します。

## 地域全体の安全な出産を支える総合周産期母子医療センター

八千代医療センターは千葉県に3つしかない総合周産期母子医療センターのひとつに指定されており、地域全体の安全な出産を支えています。

MFICU(母体・胎児集中治療室)6床、NICU(新生児集中治療室)21床を有し、常時、母体および新生児の搬送を受け入れる体制を整え、リスクの高い妊娠に対する医療や高度な新生児医療などの周産期医療を提供しています。

## 麻酔科医との協力で行う無痛分娩

総合周産期母子医療センターは麻酔科と協力して、無痛分娩(硬膜外無痛分娩)に力を入れています。日本での無痛分娩はおよそ6%程度ですが、アメリカではおよそ70%程度です。フランスでは、1981年にわずか4%であったものが、2016年には82%にまで上昇しました。

八千代医療センターでは、日本麻酔科学会の提言に則り、安全性に充分配慮した体制をとっています。麻酔科医が無痛分娩管理者となり、産科医、助産師、小児科医らとともにチーム医療を実践しています。

## セミオープンシステム

セミオープンシステムは、正常経過の妊婦さんが地域のクリニックで妊婦健診を受けて、分娩を八千代医療センターで行うシステムです。妊娠20週になるまでに紹介状を持って、一度八千代医療センターを受診してください。その後は妊娠32週以降から分娩まで八千代医療センターで定期的に妊婦健診を受けます。

「退院した後はしばらく実家に帰りたい」、「実家は八千代市だけど今住んでいるところから八千代医療センターに通うのは大変」、などの場合にはセミオープンシステムをお勧めします。

## LDR分娩、立ち会い分娩

八千代医療センターの分娩は、LDR(陣痛Labor・分娩Delivery・回復Recovery)というお部屋で、陣痛発来から分娩・その後の回復期までを過ごし、バースプランに沿った支援をします。陣痛のつらい時期にお部屋を移動することなく、LDRのベッドが分娩台となり出産できます。ご主人あるいは、一番立ち会ってほしい方お一人の立ち会いが可能です。

## 母子同室と母乳育児

お母さんと赤ちゃんは常に一緒にいるということが一番自然な姿です。お母さんと赤ちゃんの健康状態が良ければ、出産直後から母子同室が可能です。赤ちゃんと一緒に過ごすことで、育児にも早く慣れることができ、母乳育児を行なっていく上でもとても効果的です。妊娠中の乳房のお手入れから、出産後の乳房変化に合わせた授乳指導や乳房ケアを適切に行なっていきます。母乳のメリットを推奨しながら、お母さんが望む母乳育児を無理なく、楽しくすすめられるようお手伝いします。

## 母乳外来と産後健診

八千代医療センターで出産された方は、退院後も母乳育児のフォローアップや、乳房ケアを受けることができます。母乳の分泌状況や赤ちゃんの体重の増え具合等、気がかりなことがあるときには、遠慮なくご相談ください。卒乳の相談も行っています。

産後1カ月健診や必要時2週間健診を設けています。お母さんと赤ちゃんが順調に経過しているか、お母さんの気持ちの変化や不安も含めてサポートしていきます。



# 新しい命の誕生に全力を尽くす医師をご紹介します

## 母体胎児科 教授 正岡直樹



私達の医局には周産期(産科)専門医・指導医を含め10名以上の医師が勤務しており、助産師と協力し、チームとして安全、安心なお産を心がけています。母体胎児科は千葉県に3施設ある総合周産期母子医療センターの一つを担当しています。

総合周産期母子医療センターとは相当規模のMFICU(母体胎児集中治療室)を含む産科病棟およびNICU(新生児集中治療室)を含む新生児病棟を備え、常時の母体および新生児搬送受け入れ体制を有し、合併症妊娠(重症妊娠高血圧症候群、切迫早産など)、胎児・新生児異常(超低出生体重児、先天異常児など)など母体または児におけるリスクの高い妊娠に対する医療、高度な新生児医療などの周産期医療を提供する施設であり、当施設は年間200例程の母体搬送を受け入れています。

一方、妊娠経過に異常がないローリスクの方も大歓迎です。無痛分娩ご希望の方には麻酔科専門医が対応しています。

また、千葉県一のNICUもあり、新生児に万が一のことがあっても直ぐに対応してくれます。分娩室はLDRといって入院から分娩・産褥まで同じ部屋であり、陣痛室から分娩室への辛い移動などがありません。また全室個室ですのご家族と一緒に過ごす事ができます。

お産は生理現象であり、日本は恐らく世界で一番安全にお産ができる国とされています。しかしお母さん、赤ちゃんには大きな負担がかかることは事実であり、正常妊娠経過、正常分娩経過をたどっていても一定の割合で大出血、新生児仮死など予期せぬ異常が発生する事があります。当施設はいかなる異常についても病院を挙げて対応いたします。お母さん、赤ちゃんのどちらも安心して分娩できる八千代医療センターでのお産を考えてみませんか?

## 新生児科 医師 佐藤雅彦



皆様、日頃より八千代医療センターに多大なご支援を賜り、有難うございます。私は周産期センター新生児科室長の佐藤雅彦と申します。

新生児科病棟は早く小さくお生まれになったお子さん、生まれつきご病気をもたれたお子さん、出生に際して一時的に病的な状態にあるお子さん達をご入院される病棟です。新しい命が生まれ、育まれる私達の周産期センターでの診療は、決して点で終結するものではなく、時には出生前から入院中、また退院後のフォローアップ外来に至るまで、この紙面に登場する診療科、先生方をはじめ、様々なスタッフと協働してお子さんをご家族を支援させて頂くことを目標としております。

また、地域に根差した市民病院、中核病院としての機能を果たすだけでなく、拝命した総合周産期母子医療センターとして、県全域からの様々な母体・新生児搬送ニーズに対応させて頂くためには、院内は勿論のこと院外諸施設の方のご支援が不可欠であり、皆様と一緒に作り上げてきた周産期センターであると感じております。

今後も継続的に当院の使命を果たしていくため、私自身より一層の研鑽を積むだけでなく、バトンを託す次世代の人材育成にも力を入れて参りたいと考えております。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い致します。

## 麻酔科 科長 森岡宣伊

総合周産期母子医療センターを併設している当院では、安全な出産のために複数の診療科が協力し合ってお母さんとお腹の中の赤ちゃん、そして産まれた後の赤ちゃんをサポートしています。そのすべてに我々麻酔科医がかかわっております。

全身管理を得意とする私たち麻酔科医は、周産期においても無痛分娩、帝王切開の麻酔、ハイリスク出産の管理、出生後すぐに緊急手術が必要な赤ちゃんの麻酔などにそのフィールドは幅広いものがあります。

そして、当院の麻酔科医は全員小児麻酔の認定医を取得しており、出産後の新生児の蘇生に関してもNCPRの取得を義務付けております。そんな我々が、現在特に力を入れているのが、無痛分娩であります。その方法は主に脊髄も膜下鎮痛や硬膜外鎮痛を組み合わせて行なっています。無痛分娩開始前からお母さんと赤ちゃんの情報を産科医、助産師と共有して、安全で快適な無痛分娩を提供するために持続注入する機器もプログラミングができる高性能な機器を積極的に導入し、お母さんの満足度を上げております。それらすべての管理を麻酔科医が行なっています。

さらに、予定の帝王切開術だけでなく超緊急手術などの様々な状況に迅速に対応し、安全に手術が行えるよう麻酔管理を行なっています。こうして我々麻酔科医が、産科、小児科、新生児科と協力して周産期の管理を提供しております。



麻酔科メンバー同

# お知らせ

ご紹介の際は、紹介状(診療情報提供書)をご用意頂き、事前のご予約をお願い致します。

## 医療機関からの診察・検査連携のご予約(地域連携直通)

TEL 047-458-6543 FAX 047-458-6545

受付時間 平日 9:00 ~ 17:00 ・ 土曜日 9:00 ~ 13:00

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30 ~ 1/4)はお取扱していません。

※時間外の場合はFAXを送信して下さい。翌受付時間内にご連絡させていただきます。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。



## 医療連携マネージャー(医師)

緊急を要する当日(日中)のご紹介は、紹介診療科が定まっている場合は従来通り当該診療科の医師が対応します。担当診療科の特定がしにくい場合は、「医療連携マネージャー」が電話対応をさせていただきます。ご対応は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

## 検査連携(医療機関から申込)

検査連携のご依頼は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

応需検査: CT、MRI(単純)、RI、XP、マンモグラフィ、骨密度測定、セファロの画像検査

## 患者さんからの診察のご予約(予約センター)

TEL 047-458-6600

受付時間 平日 9:00 ~ 16:00 ・ 土曜日 9:00 ~ 12:00

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30 ~ 1/4)はお取扱していません。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。

## やちよ夜間小児急病センター(中学3年生までの小児対象)

TEL 047-458-6090

受付時間 毎日 18:00 ~ 23:00

医療相談は行っていません。ご予約の必要はありません。受付時間内に直接ご来院下さい。

## 地域医療連携フォーラム開催

「第9回東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」を下記の通り開催致します。日頃より大変お世話になっております八千代市医師会及び歯科医師会をはじめ、近隣の医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域医療支援病院における連携登録医の先生方、メディカルスタッフ、行政機関の皆様のご参加申し込みを頂いております。当日のお越しをお待ちしております。

「第9回東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」

日時: 令和2年2月29日(土) 17:00 ~ 20:00 (受付開始16:30)

会場: ウィンストンホテル・ユーカー (千葉県佐倉市ユーカーが丘4-8-1)

内容: 第1部 講演会 「自分らしく生きる」を地域でつなぐアドバンス・ケア・プランニング

東京慈恵会医科大学附属柏病院

総合診療部 診療部長 三浦靖彦先生

第2部 意見交換会・懇親会



東京女子医科大学

八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田477-96

TEL 047-450-6000(代表)

FAX 047-458-6545

入退院支援室 TEL 047-458-6543(直通)